資料５

事　務　局　資　料
令和４年１月１９日

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

１　各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表１　予測数まとめ

観測点 区市名	予測Ａ（佐橋） （資料2　２－2頁）	予測Ｂ（横山） （資料3　３－4頁）	予測Ｃ（村山） （資料4　４－3頁）
千代田	3,400～4,100	4,500	5,750
葛飾		4,600	5,640
杉並		4,400	6,530
北		3,700	5,600
大田		3,700	5,410
青梅		10,400	11,540
八王子	5,600～6,800	7,200	8,790
多摩		6,000	6,880
町田		5,500	5,300
立川		4,500	5,610
府中		3,700	4,730
小平		2,600	3,240

（個／cm²／シーズン）

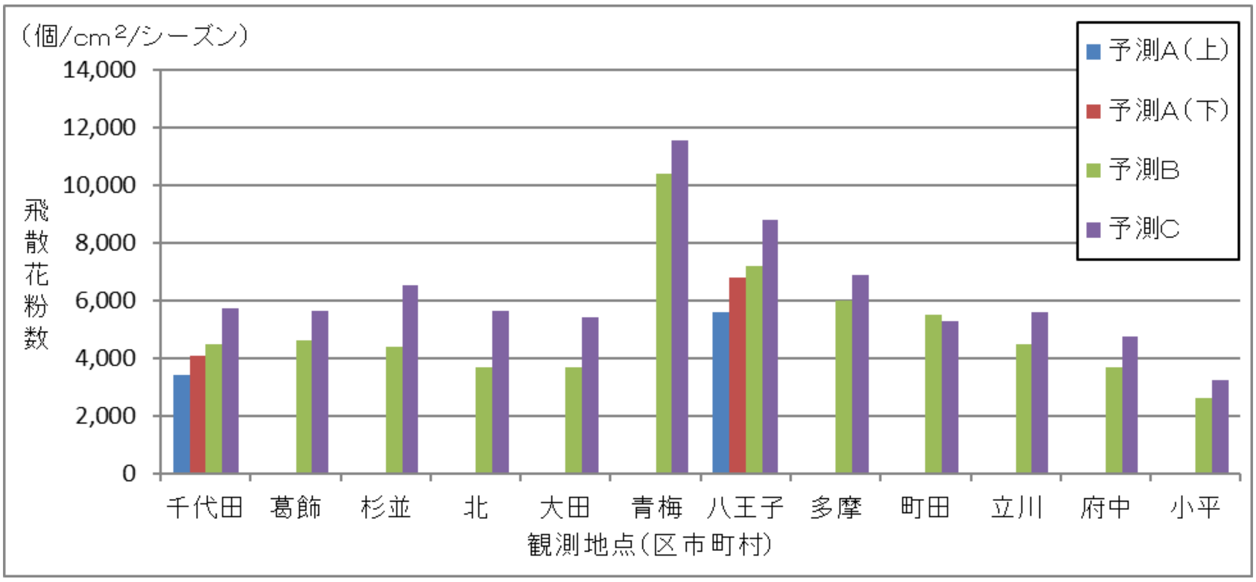


図１　飛散数予測の比較

２　予測の調整

表２　各予測と予測幅案

測定点 区市名	予測A （佐橋）	予測Ｂ （横山）	予測Ｃ （村山）	予測Ｄ （調整後）	下限※	上限※
千代田	3,400～4,100	4,500	5,750	5,125	4,356	5,894
葛飾		4,600	5,640	5,120	4,352	5,888
杉並		4,400	6,530	5,465	4,645	6,285
北		3,700	5,630	4,665	3,965	5,365
大田		3,700	5,410	4,555	3,872	5,238
青梅		10,400	11,540	10,970	9,325	12,616
八王子	5,600～6,800	7,200	8,790	7,995	6,796	9,194
多摩		6,000	6,880	6,440	5,474	7,406
町田		5,500	5,300	5,400	4,590	6,210
立川		4,500	5,610	5,055	4,297	5,813
府中		3,700	4,730	4,215	3,583	4,847
小平		2,600	3,240	2,920	2,482	3,358

※　予測Ｄの±１５％（小数点以下四捨五入）

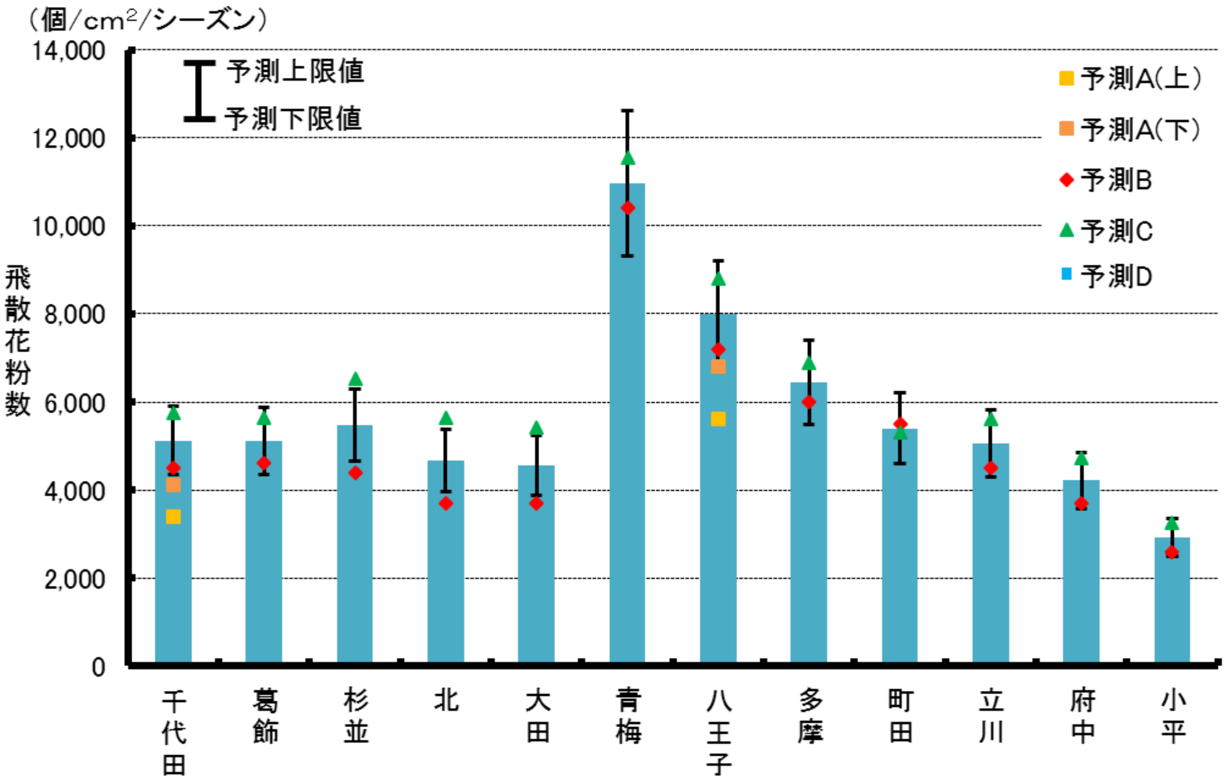


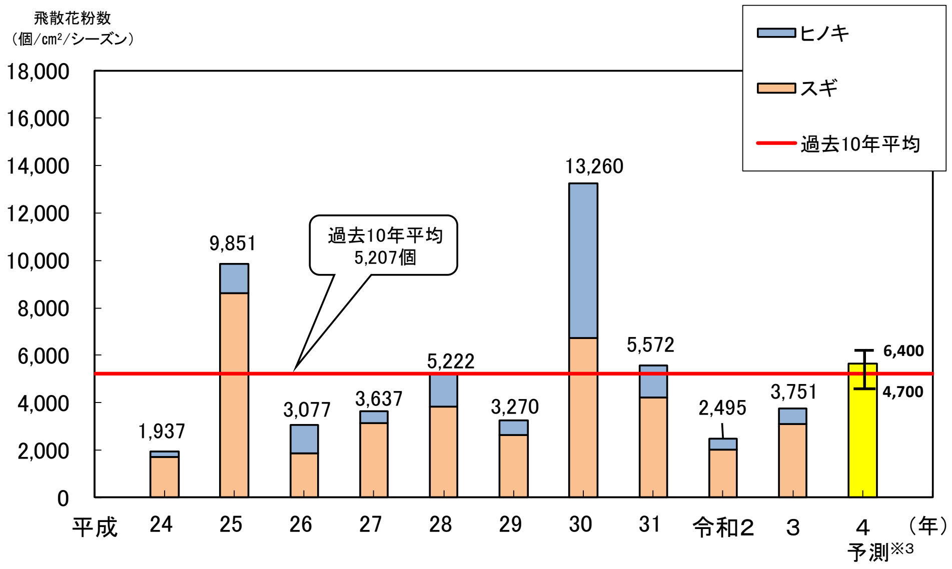
図２　予測幅案と各予測との比較

３　スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表３　飛散花粉数

測定点 区市名	令和４年 飛散花粉数予測値※1	令和３年比 過去10年平均比	令和３年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散 花粉数	過去の 飛散花粉数※2 最小	過去の 飛散花粉数※2 最大
千代田	4，300～5，800	1．2～1．6 0．9～1．2	3，629	4，783	277	11，465
葛飾	4，300～5，800	1．3～1．7 0．9～1．2	3，320	4，868	136	11，959
杉並	4，600～6，200	1．0～1．4 0．8～1．1	4，412	5，610	118	14，614
北	3，900～5，300	1．3～1．7 0．8～1．1	3，082	4，691	242	11，707
大田	3，800～5，200	1．1～1．5 0．8～1．1	3，551	4，699	148	12，481
区部平均	4，100～5，600	1．1～1．6 0．8～1．1	3，599	4，930	―	―
青梅	9，300～12，600	1．4～1．9 0．9～1．2	6，682	10，371	125	37，899
八王子	6，700～9，100	1．3～1．8 1．0～1．3	5，095	7，036	142	24，958
多摩	5，400～7，400	1．7～2．3 0．9～1．2	3，187	6，085	1，035	21，565
町田	4，500～6，200	1．3～1．8 1．1～1．5	3，408	4，167	215	18，914
立川	4，200～5，800	0．8～1．1 1．0～1．4	5，152	4，250	1，292	19，969
府中	3，500～4，800	1．6～2．1 1．0～1．4	2，247	3，465	772	15，914
小平	2，400～3，300	1．9～2．6 1．0～1．3	1，248	2，461	291	12，345
多摩地域平均	5，100～7，000	1．3～1．8 0．9～1．3	3，860	5，380	―	―
都内平均	4，700～6，400	**1．3～1．7 0．9～1．2**	3，751	5，207	―	―

※１　花粉数は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器（ダーラム型）のスライドグラス１平方センチメートル内に付着した花粉の個数である。
※２　過去の飛散花粉数（最大、最小）は都の観測開始（昭和 60 年）以降のものである。なお、千代田は平成２年以降、小平は平成９年以降、多摩・立川・府中は平成 17 年以降のものである。



※３　スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。
予測値は、スギとヒノキの合計値です。

図３　飛散花粉数の経年変化（都内 12 地点平均）

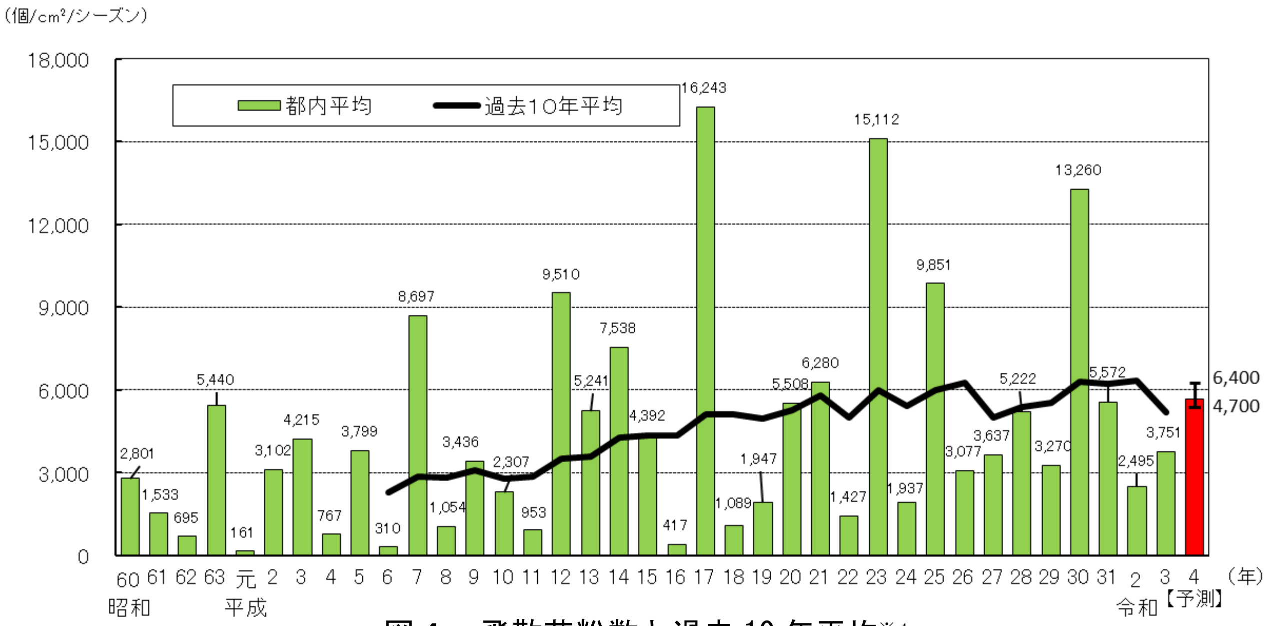


図４　飛散花粉数と過去 10 年平均※4

※４　平成２年から千代田で測定開始、平成９年から小平で測定開始、平成 17 年から多摩、立川、府中で測定を開始した。平成 17 年以降は、現在の 12 地点で測定を行っている。

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去 10 年平均は増加傾向にあります。

４　飛散花粉数が多い日※5の予測について

調整後の飛散花粉数の予測値に基づき、村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表４に示します。

表4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測　　（データ提供：村山貢司氏）

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数（日）	33	33	35	31	30	61	47	39	34	33	29	23

表5 飛散花粉数が多い日の予測

	令和４年予測※6	令和３年	過去 10 年平均
区部（日）	32	30	34
多摩地域（日）	38	29	30
都内平均（日）	36	29	32

※５　飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器（ダーラム型）で測定した数値が１日あたり 30 個／cm²以上の日
※６　村山委員が行った予測（表４）から算出

飛散花粉数が「多い（30 個以上）」の日数は、区部で 32 日程度、多摩地域で 38 日程度となる見込みです。都内平均では、36 日程度となり、前年の 29 日よりも 7 日多く、過去 10 年間の平均の 32 日よりも 4 日多くなる見込みです。

５　飛散開始日の予測について

	令和４年予測	令和３年平均	過去10年平均
都全体	２月 14 日	２月 11 日	２月 16 日
区部	２月 15 日	２月 10 日	２月 15 日
多摩地域	２月 13 日	２月 12 日	２月 16 日

飛散開始日は都全体で２月 12 日から 16 日頃と予測され、過去 10 年の平均よりもやや早くなる見込みです。

なお、２月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。